

在宅取組型（小学校）

学校名等	輪之内町立仁木小学校
実施日時	平成29年6月5日(月)から1週間
会場	各家庭
参加人数	1年生 26名
学習課題(分野)	『ぎゅっ』して親子の絆を深める
運営者の願い	学校生活に慣れてきたところで、親子のコミュニケーションを増やし、学校生活への不安を緩和し情緒の安定を図り親子の絆を深めることで、安心して学校生活ができるようにする。

学 習 の 内 容

<1年生家庭教育学級の取組>

6月5日(月から1週間、親子でハグの時間をとる。(1回30秒くらいが理想として啓発)ハグだけでなく、手を握ってあげたり、頭をなでてあげたりでも構わない。スキンシップを行ってもらおう。

ハグをすることで、『オキシトシン』という幸せホルモンが分泌され、幸福感が得られたり、子どもの自立につながったりする。

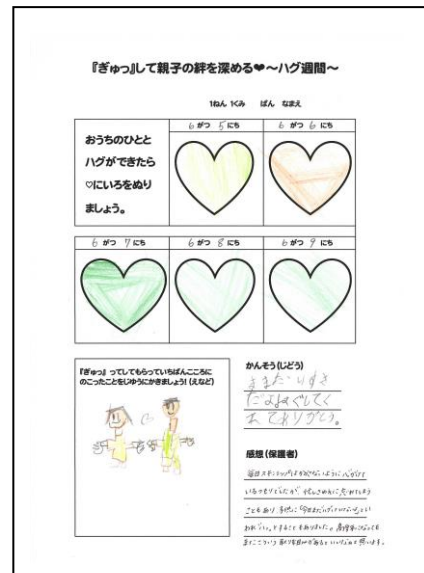
こうした取組を通して、心も身体も健康になり、愛情を再確認し、親に依存することなく成長していける。

<感想>

普段なかなかぎゅっとしてあげることがないので、とてもよかったです。これから続けていきたいなと思いました。ハグには二人の気持ちをつなぐ力がありました。

毎日スキンシップは欠かさなつもりでしたが、忙しさゆえ忘れてしまうこともあり、子どもに「今日まだハグしていないよ。」と言われ、ハッとすることもありました。

高学年になっても、またこうした取組があるとよいと思います。



取組に>

1年家庭教育学級の取組が好評であったことを受け、PTA 母親委員会から夏休みに全校で取り組むことが提案された。高学年においても、恥ずかしがってはいるが、こうした機会をもつことで親子でのスキンシップができ、心の安定につながった。

<全校からの感想> ○は子どもの感想 ●は保護者の感想

- 一週間ぎゅっとしてもらって心強かったよ。
- おかあさんやおとうさんとハグやキスをしてうれしかった。
- すごく元気がもらえて、がんばろうという気持ちになりました。
- 家族と一緒にいると、温かいなと思いました。家族と一緒にいる時間を大切にしたいです。
- 普段と比べて子どもとたくさんスキンシップすることができ、親も子どもからパワーをもらいました。
- ハグしたことで、お互い穏やかになりました。おとうさんともしてほしいです。
- 最近あまりハグしたりすることもなかったのですが、久しぶりにたくさんスキンシップをして元気がでました。
- 心があたたまり、やさしくなれるような気がしました。